







## 有限オートマトンでの計算可能性問題

- 言語  $A \subset \Sigma^*$  に対し、  
A を認識する有限オートマトン  $M$   
が存在するか？

→

言語  $A$  が  
正規言語である (FA で認識される) かどうか、  
の良い判定基準は？

## 集合・写像などの言葉を用いて記述する練習

演習問題 2:  $\Sigma$  を alphabet とする。以下を記述せよ。

(3)  $L$  : 言語

- (a) 文字  $a \in \Sigma$  に対し、語に左 (resp. 右) から文字  $a$  を接続させる写像  $l_a$  (resp.  $r_a$ )
- (b) 語  $w \in \Sigma^*$  に対し、語に左 (resp. 右) から文字列  $w$  を接続させる写像  $l_w$  (resp.  $r_w$ ) (語の長さ  $|w|$  に関する帰納的定義で)
- (c) 語  $w \in \Sigma^*$  の後に接続すると  $L$  の元になる語全体の成す集合  $S_L(w)$  を与える写像  $S_L$

(4)  $M = (Q, \Sigma, \delta, s, F)$  : 有限オートマトン

- (a) 状態  $q \in Q$  にいる所から出発して語  $w \in \Sigma^*$  を読んだ後の状態  $\tilde{\delta}(q, w)$  を与える写像  $\tilde{\delta}$  (語の長さ  $|w|$  に関する帰納的定義で)
- (b) 特に、 $M$  が語  $w \in \Sigma^*$  を読んだ後の状態を与える写像  $\tilde{\delta}_0$
- (c)  $M$  が認識する言語  $L(M)$
- (d) 状態  $q \in Q$  にいる所から出発して、その後に読めば受理される語全体の成す集合  $\varphi_M(q)$  を与える写像  $\varphi_M$

## 有限オートマトンでの計算可能性問題

有限オートマトンで認識できる

$\iff$  “待ち” が有限種類

$\ell_w : \Sigma^* \longrightarrow \Sigma^* : \text{“左平行移動”}$

$$v \longmapsto wv$$

言語  $L \in \mathcal{P}(\Sigma^*)$  に対し、

$S_L : \Sigma^* \longrightarrow \mathcal{P}(\Sigma^*) : \text{“待ち” の集合}$

$$w \longmapsto \{v \in \Sigma^* \mid wv \in L\} = \ell_w^{-1}(L)$$

$$\#\text{Im}S_L < \infty \iff \exists M : L = L(M)$$

## 有限オートマトンでの計算可能性問題

有限オートマトンで認識できる

$\iff$  “待ち” が有限種類

$\ell_w : \Sigma^* \longrightarrow \Sigma^* : \text{“左平行移動”}$

$$v \longmapsto wv$$

言語  $L \in \mathcal{P}(\Sigma^*)$  に対し、

$S_L : \Sigma^* \longrightarrow \mathcal{P}(\Sigma^*) : \text{“待ち” の集合}$

$$w \longmapsto \{v \in \Sigma^* \mid wv \in L\} = \ell_w^{-1}(L)$$

$$\#\text{Im}S_L < \infty \iff \exists M : L = L(M)$$

## 有限オートマトンでの計算可能性問題

有限オートマトンで認識できない言語が存在する !!  
( $\iff$  正規でない言語が存在する)

例:  $A = \{a^n b^n \mid n \geq 0\}$  (a と b との個数が同じ)  
実際  $w_n = a^n b$  に対する  $S_L(w_n)$  が全て異なる

一般には、証明には部屋割り論法  
(の一種の pumping lemma)  
を利用することが多い

## 有限オートマトンでの計算可能性問題

有限オートマトンで認識できない言語が存在する!!  
( $\iff$  正規でない言語が存在する)

例:  $A = \{a^n b^n \mid n \geq 0\}$  (a と b との個数が同じ)  
実際  $w_n = a^n b$  に対する  $S_L(w_n)$  が全て異なる

一般には、証明には部屋割り論法  
(の一種の pumping lemma)  
を利用することが多い

## 有限オートマトンでの計算可能性問題

有限オートマトンで認識できない言語が存在する!!  
( $\iff$  正規でない言語が存在する)

例:  $A = \{a^n b^n \mid n \geq 0\}$  (a と b との個数が同じ)  
実際  $w_n = a^n b$  に対する  $S_L(w_n)$  が全て異なる

一般には、証明には部屋割り論法  
(の一種の pumping lemma)  
を利用することが多い

## 有限オートマトンでの計算可能性問題

有限オートマトンで認識できない言語が存在する!!  
( $\iff$  正規でない言語が存在する)

例:  $A = \{a^n b^n \mid n \geq 0\}$  (a と b との個数が同じ)  
実際  $w_n = a^n b$  に対する  $S_L(w_n)$  が全て異なる

一般には、証明には部屋割り論法  
(の一種の **pumping lemma**)  
を利用することが多い

## Pumping Lemma (注入補題・反復補題)

正規言語  $A \subset \Sigma^*$  に対し、

$\exists n \in \mathbb{N} :$

$\forall w \in A, |w| \geq n :$

$\exists x, y, z \in \Sigma^* : w = xyz$

(1)  $y \neq \varepsilon$

(2)  $|xy| \leq n$

(3)  $\forall k \geq 0 : xy^kz \in A$